

大阪大学 文系および理系 1A2BC 数学の傾向と対策

1. 最低点

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年
文学部	459.80/650(70.7%)	445.15/650(68.5%)	446.12/650(68.6%)	461.07/650(70.9%)	429.05/650(66.0%)	440.17/660(66.7%)	442.17/660(66.7%)
人間科学	933.56/1200(77.8%)	833.75/1200(69.5%)	875.00/1200(72.9%)	872.00/1200(72.7%)	777.00/1200(64.8%)	850.93/1230(69.1%)	891.56/1230(69.1%)
中国語	412.65/650(63.5%)	381.80/650(58.7%)	400.08/650(61.6%)	359.34/650(55.3%)	351.82/650(54.1%)	423.00/735(57.6%)	433.17/735(57.6%)
朝鮮語	395.75/650(60.9%)	403.65/650(62.1%)	413.05/650(63.5%)	390.16/650(60.0%)	388.26/650(59.7%)	420.81/735(57.3%)	416.88/735(57.3%)
モンゴル	379.43/650(58.4%)	310.50/650(47.6%)	360.01/650(55.4%)	360.68/650(55.5%)	306.91/650(47.2%)	286.02/735(38.9%)	365.33/735(38.9%)
インドネシア	409.87/650(63.1%)	371.28/650(57.1%)	395.97/650(60.9%)	197.01/650(30.3%)	321.78/650(49.5%)	403.08/735(54.8%)	367.12/735(54.8%)
フィリピン	391.82/650(60.3%)	341.69/650(52.6%)	369.08/650(56.8%)	357.43/650(55.0%)	327.99/650(50.5%)	376.18/735(51.2%)	377.27/735(51.2%)
タイ語	384.66/650(59.2%)	345.01/650(53.1%)	364.91/650(56.1%)	368.43/650(56.7%)	283.12/650(43.6%)	389.30/735(53.0%)	381.67/735(53.0%)
ベトナム語	381.34/650(58.7%)	362.09/650(55.7%)	385.93/650(59.4%)	322.25/650(49.6%)	336.02/650(51.7%)	383.47/735(52.2%)	392.61/735(52.2%)
ビルマ語	378.70/650(58.3%)	354.65/650(54.6%)	366.90/650(56.4%)	317.53/650(48.9%)	305.25/650(47.0%)	349.36/735(47.5%)	364.62/735(47.5%)
ヒンディー	371.71/650(57.2%)	368.82/650(56.7%)	360.09/650(55.4%)	355.75/650(54.7%)	330.25/650(50.8%)	360.78/735(49.1%)	378.65/735(49.1%)
ウルドゥー	367.06/650(56.5%)	345.18/650(53.1%)	387.13/650(59.6%)	339.78/650(52.3%)	278.13/650(42.8%)	352.78/735(48.0%)	379.33/735(48.0%)
アラビア語	383.16/650(58.9%)	373.80/650(57.5%)	376.50/650(57.9%)	315.55/650(48.5%)	329.06/650(50.6%)	362.28/735(49.3%)	430.15/735(49.3%)
ペルシア語	384.45/650(59.1%)	351.40/650(54.1%)	368.55/650(56.7%)	324.32/650(49.9%)	343.89/650(52.9%)	338.53/735(46.1%)	406.40/735(46.1%)
トルコ語	385.93/650(59.4%)	357.90/650(55.1%)	386.26/650(59.4%)	342.00/650(52.6%)	339.55/650(52.2%)	403.28/735(54.9%)	405.90/735(54.9%)
スワヒリ語	382.36/650(58.8%)	340.95/650(52.5%)	374.03/650(57.5%)	341.16/650(52.5%)	322.38/650(49.6%)	361.18/735(49.1%)	385.53/735(49.1%)
ロシア語	402.15/650(61.9%)	356.99/650(54.9%)	379.68/650(58.4%)	320.07/650(49.2%)	345.62/650(53.2%)	389.35/735(53.0%)	397.08/735(53.0%)
ハンガリー語	394.64/650(60.9%)	342.43/650(52.7%)	386.61/650(59.5%)	349.25/650(53.7%)	352.86/650(54.3%)	401.78/735(54.7%)	395.70/735(54.7%)
デンマーク	402.49/650(61.9%)	349.53/650(53.8%)	411.71/650(63.3%)	383.59/650(59.0%)	337.43/650(51.9%)	418.33/735(56.9%)	399.95/735(56.9%)
スウェーデン	399.29/650(61.4%)	353.74/650(54.4%)	423.03/650(65.1%)	365.65/650(56.3%)	323.57/650(49.8%)	431.85/735(58.8%)	429.41/735(58.8%)
ドイツ語	411.53/650(63.3%)	369.19/650(56.8%)	410.01/650(63.1%)	374.05/650(57.5%)	362.90/650(55.8%)	419.83/735(57.1%)	433.18/735(57.1%)
英語	427.07/650(65.7%)	377.40/650(58.1%)	436.44/650(67.1%)	364.68/650(56.1%)	393.70/650(60.6%)	440.11/735(59.9%)	453.12/735(59.9%)
フランス語	425.74/650(65.5%)	385.19/650(59.3%)	422.70/650(65.0%)	371.49/650(57.2%)	400.30/650(61.6%)	428.66/735(54.1%)	437.26/735(54.1%)
イタリア語	378.77/650(58.3%)	383.15/650(58.9%)	400.97/650(61.7%)	349.39/650(53.8%)	360.81/650(55.5%)	405.76/735(58.3%)	452.03/735(58.3%)
スペイン語	402.02/650(61.8%)	388.11/650(59.7%)	400.95/650(61.5%)	354.49/650(54.5%)	369.01/650(58.9%)	415.65/735(56.6%)	445.82/735(56.6%)
ポルトガル	387.99/650(59.7%)	372.32/650(57.3%)	392.20/650(60.3%)	344.95/650(53.1%)	333.63/650(51.3%)	402.85/735(54.8%)	413.13/735(54.8%)
日本語	397.63/650(61.2%)	378.76/650(58.3%)	405.43/650(62.4%)	334.96/650(51.5%)	355.74/650(54.7%)	379.53/735(51.6%)	403.23/735(51.6%)
法学部—法	676.12/900(75.1%)	602.75/900(73.0%)	646.00/900(71.8%)	656.00/900(72.9%)	581.50/900(64.6%)	802.36/1200(66.9%)	855.93/1200(66.9%)
法学部—国際	684.87/900(76.1%)	616.00/900(74.3%)	669.50/900(74.4%)	624.75/900(69.4%)	598.00/900(66.4%)	823.36/1200(68.6%)	835.13/1200(68.6%)
経済—A	516.92/600(86.2%)	500.46/600(86.3%)	480.00/600(80.0%)	494.60/600(82.4%)	490.76/600(81.8%)	512.30/600(85.4%)	505.96/600(85.4%)
経済—B	477.91/600(79.7%)	392.32/600(71.4%)	450.73/600(75.1%)	433.50/600(72.3%)	364.89/600(60.8%)	386.96/600(64.5%)	434.13/600(64.5%)
経済—C	468.52/600(78.1%)	409.64/600(74.2%)	430.48/600(71.7%)	435.07/600(72.5%)	398.68/600(66.4%)	415.82/600(69.3%)	432.70/600(69.3%)
医—看護	692.30/1000(69.2%)	646.10/1000(64.6%)	648.20/1000(64.8%)	634.60/1000(63.5%)	606.10/1000(60.6%)	627.20/1025(61.2%)	638.75/1025(62.3%)



2 配点

文学部	共テ 260 点 国語 150 点 英語 150 点 地歴数学 1 科目選択 100 点
人間科学部	共テ 630 点 国語 200 点 英語 200 点 数学 200 点
外国語学部	共テ 235 点 国語 100 点 英語 300 点 地歴数学 1 科目選択 100 点
法学部	共テ 600 点 国語 200 点 英語 200 点 数学 200 点
経済 A	共テ 540 点 国語 20 点 英語 20 点 数学 20 点
経済 B	共テ 60 点 国語 180 点 英語 180 点 数学 180 点
経済 C	共テ 300 点 国語 100 点 英語 100 点 数学 100 点
医一看護	共テ 625 点 数学 100 点 理科 1 科目 100 点 英語 200 点

*経済学部はまず A・B 配点でそれぞれ上位 65 名が合格となります。これらの合格者を除いた中から C 配点での上位者が合格するというシステムになっています。

3 特筆すべき出題分野

★数学 1A の出題分野に「数学と人間の活動」が含まれていません。とはいえども整数に関するものが全くでないということではないと思われます。「互助法」や「 n 進法」といった整数問題独特の話題は出題しないという解釈でよいのではないかと思います。

★数学 2B の出題分野に「確率分布と統計的な推測」が含まれておりません。こちらは出題しないと思ってよいでしょう。

4 学習について

試験時間は 90 分で 3 問です。例年ハイレベルな問題が多いです。微積分、図形の問題は毎年のように出題されています。また確率もよく出題されますが、他分野と融合することがあります。その際は数え上げることが多いです。こちらは過去問等で慣れておくといよいでしょう。また数列の出題も散見します。おススメの学習の流れをお伝えします。

①『青チャート』（レベル 4 まで）『Focus Gold』（レベル 3 まで）『LEGEND』（レベル 3 まで）『数学 1・A 基礎問題精講』『数学 II・B+ベクトル基礎問題精講』『Super Quick I +A』『Super Quick II・B・C（ベクトル）』といった網羅系参考書をこなしましょう。例題が解けるようになることが目標です。数学が苦手である生徒さんに対しては『Super Quick』をおススメします。

時間のない受験生は『Super Quick』→『文系の数学 重要事項完全習得編』と学習するとよいでしょう。

②『大学への数学スタンダード演習』『文系の数学 実践力向上編』『理系数学の良問プラチカ 数学 I A II BC』といった問題集で演習を積むとよいでしょう。

③時間に余裕があれば『文系数学の良問プラチカ 数学 I A II BC』『ハイレベル数学 I A II BC の完全攻略』『上級問題精講』といった思考力を養成する問題集で実践力を向上させたいです。

④『阪大の文系数学 20 年』が教学社から出版されています。A や B のレベルが完答したいレベルです。まずはそのレベルをしっかりとっておいて阪大のボリュームに慣れておきたいです。C や D レベルは難しいのでできなくても大丈夫です。C レベルは少しでも部分点がとれるようにしましょう。

5 過去の出題問題と難易度

過去に出題された分野と難易度を以下に示します。

A・・・完答必須です B・・・合格の明暗を分けそうです C・・・方針をとらえて部分点を得たいです

D・・・難しいです。少しでも部分点がとれたら。 E・・・できなくても仕ないです

2019 年 目標 5 割半

① 三角関数、図形と不定式 B

角 $x + y$ にとらわれず合成して式変形できたかどうかです。そのあとは線形計画法であることは分かるでしょう。完答したい問題です。

② 2 次方程式 C

方針はシンプルですが、計算が多く緻密さが要求されます。完答できた受験生は少なそうです。

③ 空間座標 C

東の方針をとれると機械的に処理はできますが、計算が多いです。平面を取り出したりして取り組むことも可能ですが、高級で出来ない受験生が大半でしょう。

総評

[1] を完答したいです。他の2問はできなくても仕方ないと思います。どこまで部分点がとれたかでしょう。

2020年 目標7割

[1] 三角関数、微分法 B

これは完答したいです。計算メインの問題であり落とせません。

[2] 確率、漸化式 B

基本的な確率漸化式です。これも落とせない問題でしょう。

[3] 図形と計量、三角関数 B

辺の長さを何で表現するかです。正弦定理が適切だと思えたかどうかでしょう。それ以降は難しくありません。

総評

3問ともそれほど難しくなく、高得点の争いになったと思われます。2問完答を目指したいです。

2021年 目標6割

[1] 図形と方程式、微分法 B

定番の処理です。計算はやや多いですが完答したい問題でしょう。

[2] 空間ベクトル BC

同一平面上にある条件の処理は定番です。計算量が多いのでやりきれんかどうかです。指針はしっかり示したいです。

[3] 整数 BC

(2)まではとりたいです。(3)で $2a+b$ と $a+2b$ のどちらも3の倍数でなければならないことに気づけるかどうかでしょう。

総評

前年度より計算量も増え、受験生が苦手とする整数問題も出題されました。しっかり差がでそうなセットです。

[1] をきっちりとしてあとは部分点をもぎとりましょう。

2022年 目標7割

[1] ベクトル B

(2)がポイントです。3辺の長さの条件から内積を出せるかどうかです。演習をこなしていれば文字であっても難しくありません。完答必須でしょう。

[2] 確率 B

(2)(3)で場合分けを緻密にこなし、丁寧に確率を求めればよいです。計算もそこまで煩雑ではなく得点を稼ぎたいです。

[3] 積分法 B

6分の1公式を用いる定番的な問題です。これも得点を稼ぎたいです。

総評

前年度より温和になりました。2完を目指したいです。いかに基本が大切かを感じさせるセットでした。

2023年 目標5割半

[1] 三角関数、2次方程式 B

すぐに2次方程式の問題に帰着できます。解の配置のうち「少なくとも1つ解をもつ」タイプの取り組みになれているかどうかでしょう。参考書等できっちり解法を確認しておきたいです。

[2] 対数関数、微分法 BC

(1)は大丈夫でしょう。そのあと極値が定義域に入るか入らないか場合分けといった流れでよくあるパターンですが、受験生はこの類を不得手にしていますので、力の差が出たと思われます。明暗を分けた1題かもしれません。

[3] ベクトル C

基底のとりかえといった話題であり、できない受験生が多そうです。(1)だけでもできたらよいでしょう。

総評

前年度よりも難しくなりました。とはいえも定石が重要であることが実感されます。1つは完答したいです。

2024年 目標5割半

[1] 2次関数、積分法 B

(2)で面積が等しい条件をうまく処理できたかどうか勝負です。直接面積を表現するのではなく、面積を加えて6分の1公式に帰着する発想ができたかどうかでしょう。明暗を分けそうな問題です。

[2] 空間図形、ベクトル D

ほとんどの生徒はできなかったでしょう。自分で設定せねばならず、しかも工夫が必要でレベルが高いです。できなくてもよいです。

[3] 整数、数列 BC

(2)はやや難しいでしょう。数学的帰納法の方針がとれば加点でしょう。計算は簡単ですが、素数の条件をどう用いて $n=k+1$ のときを示すかはできない受験生が多そうです。

総評

本年も難しいセットでした。[1] が完答できたかが勝負所です。[3] もできたらとってほしいところですが、できなかった受験生が大半でしょう。得点を稼ぎにくいセットであり差がつかなかったと思われます。

2025 年 目標 6 割

① 平面ベクトル、図形の性質 B

交点の位置ベクトルの特定内積 ver. です。やや計算が多いので、計算力が試される問題でした。最後まで計算が合っていた受験生は少なそうです。

② 数列 CD

(2)は厳しいでしょう。(1)は形にビビらず左辺に代入して計算すれば意外と簡単です。(1)だけとりたいです。

③ 整数、数列 A

阪大としては易しい問題です。これは完答必須といえます。

総評

本年は ② 以外は手がつけやすいです。③ は完答必須でしょう。① が明暗を分けたかもしれません。

2026 年 目標 5 割

① 数列、対数 B

誘導のついた漸化式です。問題集にあるような問題で方針は迷わずいきたいです。全体として計算量が多いと思いますが最後まで答えを求めてほしい問題です。

② 空間ベクトル B

(1)で同一平面上にある条件を立式できるかが焦点になるでしょう。あとは内積の条件を用います。(2)は機械的な計算しかありません。完答したい問題です。

③ 微積分 B

変な形の関数ですが、積分はすぐ計算できます。微分して極値をとる $x = \frac{1}{a}$ が 0 と 1 の間にあるかないかで場合分けというところが最大のポイントとなりそうです。そこまで複雑ではなく完答を目指したい問題です。

総評

本年は 3 問とも解きやすかったです。これくらいであればしっかり差がつきそうで適切なセットだなと思いました。2 問の完答を目指したいです。